

北総版 授業力向上のポイント

必見

～授業の前に確認するはじめての一步～



授業力向上のために、ぜひ確認してほしい
ポイントです。日々の授業で活用してみましょう。

技術・家庭科 技術分野

チェックを
入れてみよう。

1 実習での安全指導の徹底

- 工具や機械の保守点検をします。
- 実習するために必要な数が揃っているか確認します。
- 工具や機械を使用する際の安全指導を必ず行います。
安全な環境で学習することが、技術を学ぶ基盤となります。
- 活動しやすく、安全に配慮した服装で実習をします。
- 作業動線を考え、実習室を整備します。

2 技術による問題の解決

- 生徒自身が生活や社会の中から問題を見だし、具体的な課題を設定します。
解決策を考え、製作・育成し、その結果と過程を評価・改善します。
- 「作り方」を教えるのではなく、技術者がするように「考える方法」を教えます。
「これをつくると社会はどうなる?」「安全か?」「環境への影響は?」「コストは?」
など、多角的な視点で、最適な答えを出す思考のプロセスを常に意識させる
ことが大切です。

3 技術における情報活用能力の育成

- 生徒のプログラミング等の既習状況を把握します。
- 生徒に「利用者」「設計者」「技術者」などの視点をもたせます。
職業の具体例を示して設定すると、生徒は考えやすくなります。
- 情報モラルや情報セキュリティを技術的な仕組みとセットで学習させます。
- プログラミングは、問題解決のための手段として捉えさせます。
「何のために、誰のために、このプログラムを作るのか」という目的意識
(効率化、利便性、安全性など)

○技術分野に関する多くの実践例を見ることができます。

文部科学省 中学校技術・家庭科（技術分野）事例集

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/senseiyouen/mext_02685.html

